

CB(Community Business)訪問

今回は『北柏駅前保育園わらび』を訪問し、溜川園長様にお話をお聞きしました。

・沿革

『北柏駅前保育園わらび』（通称 『わらび保育園』）は学校法人“くるみ学園”が運営する保育園です。『くるみ幼稚園』と姉妹関係にあり、認可保育園・認定こども園を取得しています。

学校法人“くるみ学園”が運営する『くるみ幼稚園』は、昭和 30 年に本園を柏駅前にオープン。その 10 年後に柏の豊四季団地に分園を開設し 2 園となりました。しかし、本園は駅前再開発によって閉園し、現在では豊四季団地の 1 園となり、今日に至っています。

『くるみ幼稚園』は開設当初から法人立（当初は財団法人）幼稚園で、法人立幼稚園としては柏で最も歴史があります。また、私立幼稚園では千葉県で最初に「認定こども園」に認定されました。当初は幼稚園型認定こども園でしたが、わらび保育園の開設によって現在では幼保連携型認定こども園となりました。



わらび保育園の外観は一般の家屋に類似

・わらび保育園

柏市は、全国でも有数の保育園待機児の多い市です。北柏地区の保育園には待機児童も多く、北柏駅の南口地域には幼稚園や保育園もありませんでした。そこで、平成 20 年 4 月に北柏駅前に『わらび保育園』をオープンしました。保育対象児は 0 歳児～3 歳児で、定員 30 名の小さな認可保育園です。規模も小さく、施設も普通の家のようにです。「小さな子ども達には、なるべく家庭に近い環境で保育することが望ましい」と

の考えによるものです。

「わらび」とは、沖縄の言葉で「幼い子」という意味です。そして『わらび保育園』の入り口にはシンボルの「あしびなあ君」を立てました。「あしびなあ」も沖縄の言葉で「遊び場」とか「人が集まる所」という意味があります。沖縄の貝殻を集めて作られたとのこと。沖縄の「暖かい気候や温かい人々、どこことなくゆっくりした日常」などを、わらび保育園の保育姿勢に重ね合わせています。

・ 幼保連携の認定こども園

『わらび保育園』の3歳児は、9時から15時までの時間帯は『くるみ幼稚園』に通園し幼稚園児と一緒に幼児教育を受けます。この時間帯が連携保育となります。

保育園は、そもそも家庭のような役割を受け持ちますし、幼稚園は“遊び・学ぶ”役割を受け持つこととなります。幼稚園に行く朝の準備や幼稚園から帰ってからの着替えなども、家庭に代わって『わらび保育園』が行います。わらび保育園の3歳児は、「行ってきます」と保育園を出発して、「ただいま」と保育園に帰ってくるのです。

また、『わらび保育園』は認定こども園なため、入園申し込みの窓口は市役所ではなく『わらび保育園』に直接申し込む仕組みです。入園希望者は非常に多く、仕事を持っている親御さんの達の立場を考えて、公立の保育園にも同時に申し込むようにお話ししたり、4月入園児の決定については、できるだけ早い時期（1月中）にできるよう配慮をしています。常に待機児童がいるため、空きが出ると直ぐに埋まる状況とのことです。なお、『わらび保育園』は3歳児で卒園することになります。卒園後の進路（4歳児以降の対応）は、くるみ幼稚園をはじめとする幼稚園や他の保育園に進むこととなりますので、入園希望者に対しては仕組みについて十分に説明しているとのことでした。

・ 『わらび保育園』の特徴

『わらび保育園』は家庭と変わらない雰囲気重視しています。例えば、外観は一般の保育園らしい造りではありません。玄関口も、まるで一般の住宅のようです。給食調理室は一般家庭の台所のようです。料理をする人や料理そのものの“ぬくもり”を感じられるよう仕切りを透明ガラスにする等、温かい雰囲気とするために種々の配慮をしているとのこと。

玄関を入ると、保育室入り口ドアに「丸・三角・四角」の特製の色ガラスがはめ込まれています。丸（○）は真っ赤な太陽を、三角（△）は緑の森を、四角（□）は青々とした海または水を表しており、『わらび保育園』は自然の恵みや営みを意識した保育を目指していることを象徴しています。

また、大切な食事について（特に0歳児）は、家庭での食事と似通った食事となるように、毎日連絡帳に食事の内容を相互が記入する等の情報交換をしています。

保育園としては当然のことですが、安全や健康面には最大の注意を払っています。保育室や遊び場などの必要な消毒や点検も欠かせません。インフルエンザが流行すると学校や幼稚園なら休校とすることができるものの保育園では休園が難しいため、保育室には保育士以外は基本的に入室できないようにして感染の危険を回避すると共に、健康なときに予防注射を受けてもらうなど、日頃から保護者と一緒になって種々の予防もしているとのことでした。この努力の結果、今までインフルエンザによる大きな影響を受けたことはないそうです。



玄関には連絡帳が！



調理室は家庭の台所の雰囲気



玄関前の「あしびなあ君」



太陽・森・海（水）



手作りの遊び道具



1歳児も2歳児も、お行儀が良いですね！！

・『わらび保育園』の自主運営事業

『わらび保育園』では、自主運営事業として“一時預かり保育”を実施しています。美容院に行くとか買い物に行く等の短時間が対象で、定期的に利用している人も多いとのこと。家では親子のみの生活ですが、ここでは共同生活となるため、成長に役に立ち子どもの意外な特徴が分かったなどと好評です。

もう1つの自主運営として“子育て支援事業”があります。園庭開放を「2日間・親子5組」で募集したところ、直ぐに埋まって非常に好評でキャンセル待ちが多数出ました。今後も開催する予定があるとのこと。

・職員の確保

柏市は待機児童が多い地区であるため、柏市は毎年保育所を数園新設してきました。今後も毎年1園を新設する計画であり、保育職員の確保が難しい状況になってきました。くるみ学園の幼稚園と保育園は【幼保連携の認定こども園】であるために、保育士資格と幼稚園教諭免許の両資格を持った人を採用しており、保育園と幼稚園のどちらにも対応できる体制を整備していますので、適任者の採用には一苦労があります。

・保護者の活動

忙しい中、保護者同士が連絡を取りあって様々な自主的活動が行われています。具体的には、座談会・バザー・アルバム作り・パパ会・クリスマス会等々を保護者が保育園と相談しながら自主的に開催しています。保育園では企画のヒントや用具の貸し出しなど、保護者からの相談に応じて可能な協力をしています。

[わらび保育園のパンフレットはCtrlキーを押しながらここをクリック](#)

プロフィール	
名称	北柏駅前保育園 わらび
住所	柏市北柏 3-2-5
電話	04-7166-7355
園長	溜川 重子